



VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



Les Cabinotiers
RÉCITS
DE
VOYAGES

世界中の芸術と文化を讃えた時計製造の
長い旅路

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビ
ヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビ
ヨン - アールデコ様式への賛辞 -

2023年11月27日



紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニッツリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニッツリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニッツリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニッツリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

- ヴァシュロン・コンスタンタンが創業以来大切にしている外に目を向ける精神をもって、「レ・キャビノティエ レシ・ドゥ・ヴォヤージュ」は世界中の驚嘆すべきものを辿りながら発見の旅に誘います。様々な行先の中から選ばれたのは、メゾンが1817年から取引を始めた中東、そして1832年から拠点を構えたニューヨークです。
- 2つの地域、2つの装飾芸術：世界に影響を及ぼしたアールデコとアラベスク芸術。
- 彫金、浮き彫り、木工のマルケトリー（象嵌細工）、ジュエリーセッティングといったメティエ・ダールを用いたこれらの素晴らしい文化に敬意を捧げます。アブダビのシェイク・ザーイド・グランド・モスクの装飾とニューヨークのクライスラービルディングの建築様式から着想を得ました。
- メゾンの高い技術力を結集した自社キャリバー-2755 TMRは、ミニット・リピーターとトゥールビヨン調速装置を備え、これら2つのユニークピースに搭載されます。

新作「レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ヴォヤージュ」は、ヴァシュロン・コンスタンタンの地理的拡張を反映しています。早くから地中海の新しい市場に目を向けたメゾンは、1817年からトルコと商業関係を築きオスマン帝国の文化の特性について、そして1865年からはエジプトとの交流を通じてアラブ文化に精通していきました。同時期の1832年には、後にアールデコ様式の高層ビルが立ち並ぶニューヨークに拠点を構えています。

「レ・キャビノティエ・ミニッツリピーター・トゥールビヨン -アール・デコ様式への賛辞-」と「レ・キャビノティエ・ミニッツリピーター・トゥールビヨン -アラベスクへの賛辞-」の2つのユニークピースは、これらの異なる場所の特徴的な建築様式を称えています。どちらも自社製キャリバー-2755 TMRを搭載し、トゥールビヨンとミニット・リピーターの複雑機構を備えています。



紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ



レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

ヴァシュロン・コンスタンタンと中東の間で結ばれた絆は、数世紀にわたるオスマン帝国を率いていたトルコとその都市スミルナやコンスタンティノープルと取引をはじめた1817年に遡ります。その繋がりは、1865年には当時まだオスマン帝国の影響下にあったエジプトにも広がりました。地理的に近いこれらの市場との商業的関係の深い繋がりは、メゾンの比類ないタイムピースによって長い歴史を築いてきました。きわめて高度な複雑時計における名声を博していたメゾンは、時計製造の歴史を築いた卓越したタイムピースの注文を数多く受けています。例えば、マニファクチュールのアーカイブに保管されている書簡によると、エジプトのスイス人コミュニティは「時計製造芸術の最高峰」のタイムピースを要望し、それを受けて製作された時計は、1929年にエジプト国王ファード1世に献上されました。1946年には、その子息にあたるファールーク1世 国王に、この当時最も複雑なタイムピースが納められました。またサウジアラビア国王アブドゥルアズィーズ・イブン・サウード (1876-1953)を筆頭に、この地域を統治していた王家の数々が、メゾンの常連顧客でした。

「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アラベスク様式への賛辞 -」は、尖塔アーチ、ドーム、張り出し格子窓を備える、ムスリム世界の絢爛たる建築様式の美しさを賞賛しています。彫金細工の作業には3か月を要し、1/10ミリ単位の刻みを入れるには細心の注意が必要でした。



1929 - Grande complication pocket watch which belonged to the Egyptian King Fouad 1st

1946 - Grande complications pocket watch once owned by King Farouk I of Egypt

紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ウォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ



レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

初めてのグリーンのグリザイユ・エナメル

このタイムピースを装飾するためのモチーフに選ばれたのは、1995～2007年にかけ建設されたアラブ首長国連邦で最も大きなイスラム教の礼拝堂のアブダビにあるモスクで、82のドームと4つのミナレット(尖塔)にはアラベスク装飾と花模様があしらわれています。彫金師は、ケースの異なった部分にこれらの有機的な曲線をインタリオ彫金で再現し、フランジにはより幾何学な模様を施しました。ドライポイントで描かれた下絵にビュラン(彫刻刀)で凹面を作り出す彫金技法で、黒と白のコントラストによって個性を主張するこの作品に軽やかな優美さをもたらしています。

張り出し格子窓から着想を得た芸術品の様な文字盤は、透かし彫りが施されたホワイトゴールド製の「格子細工のカバー」がマットなグレイン仕上げの質感を出すために浮き彫りされたブラックのベースの上に設置されます。

モチーフにさらなる奥行きが必要な箇所には、バ・ルリエフ(浅浮き彫り)技法が用いられます。複雑に絡み合うこの飾り装飾を、細い表面、薄いホワイトゴールドのプレートに彫金で表現するため、彫金師はその希少な器用さで1ヶ月かけて細工を施します。

「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アラベスク様式への賛辞 -」はジュネーブ・シールが刻印され、ホワイトゴールド製ケースは、直径44mm厚さ13.5mmで、アリゲーターレザーストラップとアラベスク装飾の彫金を施したホワイトゴールド製フォールディングクラスプが装備されます。





紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ウォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ



レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ
様式への賛辞 -

大西洋を越えて、アメリカ大陸はヴァシュロン・コンスタンタンにとって特別な旅の行き先となりました。1810年代から米国と商業取引を開始し、1832年には当時ニューヨークを拠点としていたジュネーブの時計師ジャン・マニヤン(Jean Magnin)がル・アーブルの仲介者を通して、エナメルで描かれたヴァシュロン・コンスタンタンのタイムピースの数々を送っていただきました。1848年までメゾンの代理店を務めていたジャン・マニヤンとその後継者フェルディナン・ティエリオが徐々に国内の主要都市に市場を広げていきました。20世紀初頭には、米国でのメゾンの存在は確立され、特にこの国の名だたる一族がヴァシュロン・コンスタンタンのタイムピースを愛用していました。その中には、ロックフェラー家、ヘンリー・ジェームズ、ウィリアム・ジェームズ、自動車メーカーのジェームズ・ウォード・パッカードが含まれていました。この時代は、これら偉大な実業家たちが狭いニューヨークの街で、自社のビルをこぞってさらに高く建設していました。このように、1920年代以降、マンハッタンには、クライスラービルディングにならったアールデコ様式を取り入れた高層ビルが建ち並びました。1928から1930年にかけて建設されたこのビルは高さ319mで、シルバーメタルで覆われた7つのアーチから構成される段状の尖塔で有名です。

「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アールデコ様式への賛辞 -」は、この豪華で唯一無二の建築様式を、ここではクロワゾネ・エナメルから着想を得た木工のマルケトリーによって讀えています。2層構造で奥行きを強調した文字盤は、上部の平面にアールデコ時代の内装を特徴づける放射状のモチーフが施されています。



紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ウォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ



レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

ヴァシュロン・コンスタンタンは初めて、木工のマルケトリーとシャンルベ・エナメルを組み合わせた文字盤を製作しました。

この文字盤を製作するために象嵌細工職人は、きわめて小さなくぼみを持つ構造に完璧に嵌る110枚の小さなウッドパネルをカットする際に、細心の注意を払う必要がありました。象嵌細工の専門家は、まず下絵を描き、梨の木とユリノキを染色しなめらかな表面に仕上げ、作品に必要なブラックとブルーの色合いを出します。この熟練職人は、クライスラービルディングの矢形の尖塔部分を想起させる、金属と木で構成される作品を1ヶ月かけて製作しました。

この精密に作業された部分を囲むオープンワークのミニットトラックには、ファセット仕上げされた11個のダイヤモンドが施され、これらは12時位置に向かうにつれて徐々にその形状は短くなり、流れるようなラインを強調しています。これらのマルケトリーとジェムセッティングのほか、彫金細工が加わります。18K(5N)ピンクゴールド製のケースは、ミドルケース、ラグ、ベゼルにヘリンボーン模様がインタリオ彫金で施され、「狂騒の20年代」特有の躍動的な創造性を象徴するタイムピースの魅力を際立たせています。

「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アールデコ様式への賛辞 -」はジュネーブ・シールが刻印され、18K(5N)ピンクゴールド製ケースは、直径44mm厚さ13.5mmで、アリゲーターレザーストラップと幾何学模様の彫金を施したフォールディングクラスプが装備されます。



VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE





VACHERON * CONSTANTIN

紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ウォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

手巻きムーブメント2755 TMRは、ミニット・リピーターの音色とマルタ十字を模ったトゥールビヨン調速装置の計時精度を組み合わせます。地球の重力の影響を補正するために考えられたこの機構は、2.5Hz(毎時1万8000回振動)という低い振動数によりこの複雑性を十分に鑑賞することができます。中でも時計表側から見える唯一の機構である58時間のパワーリザーブは、時計の裏側に針で表示されます。ミニット・リピーターの存在は、ケース側面に配される作動用スライドピースによってのみ認識できます。



紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー2755 TMR

レ・キャビノティエ・レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
 レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

その音響とメロディーの側面から、チャイム機構は最も繊細な時計の複雑機構のひとつであり、ヴァシロン・コンスタンタンのエンジニアと熟練時計師たちは、2005年に発表された記念モデル「トゥール・ド・リル」から着想を得ています。

このシステムは、2本の円形ゴングを叩いて時、クォーター（15分毎）、分を奏でる、高低音の明確で調和のとれた音色を得るために、連続音の間隔に完璧なリズムを与えることができます。キャリバー2755 TMRは、コート・ド・ジュネーブ仕上げのブリッジには手作業による面取り、メインプレートにはペルラージュ仕上げ、トゥールビヨンのキャリッジ・ブリッジにはベルサーージュ仕上げを施し、オートオルロジュリーに相応する高品質の仕上げを備えています。



紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) -

世界に目を向けながら、ジュネーブ時計製造の技術を深めることがヴァシュロン・コンスタンタンの信念です。創業者の孫にあたるジャック・バルテルミー・ヴァシュロン (1787-1864年) は、最初にフランスとイタリアを巡り、その旅路はフランソワ・コンスタンタン (1788-1854年) に引き継がれ、絶え間ない旅によりメゾンの商業的な発展に貢献します。フランソワ・コンスタンタンが中央ヨーロッパ、南米、北欧、アジアの市場を開拓し商業関係を確立した同じ時期に、メゾン米国と中国だけでなく、ブラジル、香港、キューバにも足場を築きました。

フランソワ・コンスタンタンの書簡から、ナポレオン戦争とウィーン条約直後の復興の真っ只中にあるヨーロッパに向けたマニュファクチュールの四半世紀にわたる様子がうかがえます。ヴァシュロン・コンスタンタンの名が国境を越え、新たな市場を獲得しビジネスの拡大を続けました。この時代から旅はメゾンの価値に根付いた概念であり、270年近いメゾンの歴史は、その人類の冒険により築かれているのです。創業者の足跡をたどり、世界とその驚嘆すべきものを題材にメティエ・ダールと機械芸術を融合させたレシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) のシリーズを、卓越した技術と機械芸術を表現手段に、世界とその驚異を巡る時計製造の長い旅として制作しました。





VACHERON * CONSTANTIN
1855 - 1955

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
 レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ

概要

「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アラベスク様式への賛辞 - 」と「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アールデコ様式への賛辞 -」は、「レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録)」を表現し、メゾンが大切にする世界に開けた精神を象徴しています。ジュネーブ・シールが刻印されたこれら2つの時計は、トゥールビヨンとミニット・リピーターを搭載した自社キャリバー2755 TMRを搭載し、裏側のサファイアシースルーバックを通してパワーリザーブ表示を鑑賞することができます。このムーブメントは、メゾンの250周年を記念した

超複雑時計「トゥール・ド・リル」のために開発した技術を取り入れました。19世紀前半以降中東と米国と築かれた絆、そしてそれぞれの芸術的な文化を讀んで、メゾンは前者に彫金で完全に仕上げられたアラビア装飾、後者にはマルケトリーに彫金とジェムセッティングを組み合わせたアールデコ調の装飾を採用しました。アブダビのシェイク・ザイド・グランド・モスクの装飾とニューヨークのクライスラービルディングの建築様式からインスピレーションを得て、直径44mmのゴールド製の比類ない2つのタイムピースが誕生しました。



紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

スタイル&ヘリテージディレクター クリスチャン・セルモニへのインタビュー

ヴァシュロン・コンスタンタンの作品に、中東からの影響を感じ取ることはできるのでしょうか？

時代によっては異国情緒を好む傾向があり、特に中国や日本といった極東からの装飾芸術への実質的な関心が高まりました。ヴァシュロン・コンスタンタンも過去のコレクションに、アラベスク装飾と花模様と切り離して考えることができないムーア様式芸術から着想を得た作品が数多くあります。メゾンは1810年代から地中海東部の国々と商業関係を築いており、19世紀初頭のアラベスク模様が浮き彫りされた数々の懐中時計を見ることができます。これらの模様は時折、真珠や貴石を並べて縁取りされていました。この様に非常に凝ったモチーフは、彫金だけでなく、シャンルベ・エナメルも用いられ、メゾンの名を冠した多くのタイムピースに施されています。この地域との最初の交流から、イスラム様式建築や見事に飾られたアラビア語の手書きの書物は、マニファクチュールの芸術職人にとって貴重なインスピレーションの源でした。「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アラベスク様式への賛辞 - 」によって、この分野での新たな最高傑作になったのではないのでしょうか。

アールデコ装飾も、メゾンにおいて長い伝統となっていますか？

ヴァシュロン・コンスタンタンが所有するコレクションには、飛躍するこの分野での並外れた創造性を証明するアールデコ様式の数々の至宝があります。伝統的時計製造に相反する、超薄型懐中時計、トラベル時計、ブローチなどのジュエリー時計は、自由な創造性の新風を吹き込んだこの時代の製造を特徴づけています。我々はいつの時代でも、先見性を持ちながら、生来のエレガントさに常に少し風変わりな要素を取り入れ、スタイルとデザインの大きな流れを構築するのに貢献してきました。アールデコの影響については、それ以上のものでした。この当時アールデコは、時計製造も含め、長期にわたって影響を与えた生き方でもあったのです。

この新しいコレクションを見ると、アールデコが魅了し続けているのが見て取れるということでしょうか？

クライスラービルディングから着想を得たこの時計を一目みただけで、特に建築の分野で米国で大きな成功を収めたアールデコの時代をすぐに思い浮かべます。この文字盤の装飾は、華やかさも併せ持つ見事な対称性の幾何学模様を備えたこの時代の優美な建築構造を想起させ、この力強い表現により魅了されます。この様にして構想された文字盤は、高い技能、そして途方もない忍耐と緻密さを必要とする希少な技法を用いて、1か月かけて完成されます。それは、彫金芸術における正真正銘の傑作である「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アラベスク様式への賛辞 - 」でも同様で、このモチーフの複雑さもさることながら、それを彫金で表現するのきわめて困難なことでした。



紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ウォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

では、焦点となるのは豊かなメティエ・ダールなのでしょうか？

レ・キャビノティエの一点製作の時計において、確かにメティエ・ダールは最も重要な部分ですが、それは構成要素のひとつにしかすぎません。それぞれユニークピースが、特にグランドコンプリケーションの分野でのメゾンの機械時計製造におけるノウハウを誇示するものなのです。「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アラベスク様式への賛辞 - 」と「レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン- アールデコ様式への賛辞 -」も、一目ではその複雑さが理解されないものの、それを完璧に表しています。この2つのタイムピースに搭載されているのは、近年開発されたものの中で最高レベルの完成度を備えるキャリバーであり、メゾンの250周年を祝い16種類のコンプリケーションを備えて製作された「トゥール・ドリル」の開発から派生した技能を採用しています。1941年にメゾンが発表した、超薄型ミニット・リピーターが搭載されたタイムピースも忘れてはいけません。厚さわずか6.1mmのこの手巻きキャリバー2755 TMRにより、ミニット・リピーターのチャイム機構に関する最新のイノベーションを組み入れながら、この超薄型キャリバーの伝統を継承します。その上、このムーブメントは、卓越した計時性の証であるトゥールビヨンにより调速され、これら2つの時計上で鑑賞できるように、もちろん美的外観も高めています。このキャリバー2755はそのモジュール式的设计構造により、天文機能など異なった機能を加えることができるのも利点です。メゾンはこのミニット・リピーターとトゥールビヨンを搭載したキャリバーに、パーペチュアルカレンダー、またはムーブメント裏側に恒星時と連動する天空図と曜日、月、方位の表示を備えたモデルも発表しました。



紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン -
アラベスク様式への賛辞 -

リファレンス・ナンバー 6650C/000G-084C
ジュネーブ・シール 取得
キャリバー・ナンバー 2755 TMR
ヴァシュロン・コンスタンタン自社開発・製造

駆動方式 機械式手巻き
ムーブメント・サイズ 直径33.90 MM X 厚さ6.10MM
パワーリザーブ 約58時間
振動数 2.5HZ(毎時1万8000回振動)
部品数 471
石数 40

表示 時・分
トゥールビヨン
トゥールビヨン上のスモールセコンド
ミニット・リピーター
パワーリザーブ

ケース 18Kホワイトゴールド、手彫り
ケース・サイズ 直径44MM X 厚さ13.50MM
サファイアクリスタルのシースルーケースバック

文字盤 18Kホワイトゴールド、ダークグレー、手作業で浮き彫り、オープンワークし手彫りされた18Kホワイトゴールドプレート

ストラップ ブラックのミシシッピアリゲーターレザー、アリゲーターレザーのライニング、手縫いサドルステッチ、ラージスクエア・スケール

クラスプ ホワイトゴールド製フォールディングクラスプ、手彫り

付属ボックス レ・キャビノティエ・モデル

ユニークピース
時計裏面に「PIÈCE UNIQUE」、*« LES CABINOTIERS »*の文字と「AC」紋章を刻印



紹介内容

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

複雑な機構、自社キャリバー-2755 TMR

レ・キャビノティエ - レシ・ドゥ・ヴォヤージュ (旅の見聞録) -

概要

スタイル&ヘリテージディレクター
クリスチャン・セルモニへのインタビュー

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アラベスク様式への賛辞 -
レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への賛辞 -

技術データ

レ・キャビノティエ・ミニットリピーター・トゥールビヨン - アールデコ様式への
賛辞 -

リファレンス・ナンバー	6520C/000R-085C
ジュネーブ・シール	取得
キャリバー・ナンバー	2755 TMR
	ヴァシュロン・コンスタンタン自社開発・製造
駆動方式	機械式手巻き
ムーブメント・サイズ	直径33.90 MM X 厚さ6.10MM
パワーリザーブ	約58時間
振動数	2.5HZ(毎時1万8000回振動)
部品数	471
石数	40
表示	時・分 トゥールビヨン トゥールビヨン上のスモールセコンド ミニット・リピーター パワーリザーブ
ケース	18K(5N)ピンクゴールド、手彫り
ケース・サイズ	直径44MM X 厚さ13.50MM サファイアクリスタルのシースルーケースバック
文字盤	ブルーとブラックの木辺のマルケトリー(梨の木をブラック、ユリノキをブルーに着色)、11個のバゲットカットダイヤモンドのインデックス(約0.10CT)
ストラップ	ダークブルーのミシシッピアリゲーターレザー、アリゲーターレザーのライニング グ、18K(5N)ピンクゴールドの手縫いサドルステッチ、ラージスクエア・スケール
クラスプ	18K(5N)ピンクゴールド製フォールディングクラスプ、 手彫り
付属ボックス	レ・キャビノティエ・モデル

ユニークピース

時計裏面に「PIÈCE UNIQUE」、*« LES CABINOTIERS »*の文字と「AC」紋章を刻印



1755年に創業したヴァシュロン・コンスタンタンは、270年近く一度も途切れることなく時計製造を続ける世界最古のマニュファクチュールであり、卓越した時計製造と洗練されたスタイルを何世代にもわたり熟練の職人により継承し、輝かしい遺産を守り続けてきました。

メゾンが製造する時計は、控えめで気品豊かなスタイルに高級時計の素晴らしい価値が体現され、その一つ一つに、最高峰の職人技と極めて高度な仕上げを施し、ヴァシュロン・コンスタンタンならではの技法や美意識が表現されています。

ヴァシュロン・コンスタンタンは、そのコレクションを通じて、比類ない伝統と革新の精神を実現しています。「メティエ・ダール」、「パトリモニー」、「トラディショナル」、「オーヴァーシーズ」、「フィフティシックス」、「ヒストリーク」、「エジェリー」はメゾンを代表するコレクションです。

さらにメゾンでは、時計に精通した時計愛好家のために「レ・コレクショナー」のヴィンテージウォッチや、「レ・キャビノティエ」部門を通じてユニークピースを提案する貴重な機会を提供しています。

#VacheronConstantin

#OneOfNotMany



VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

ONE OF
NOT MANY.

